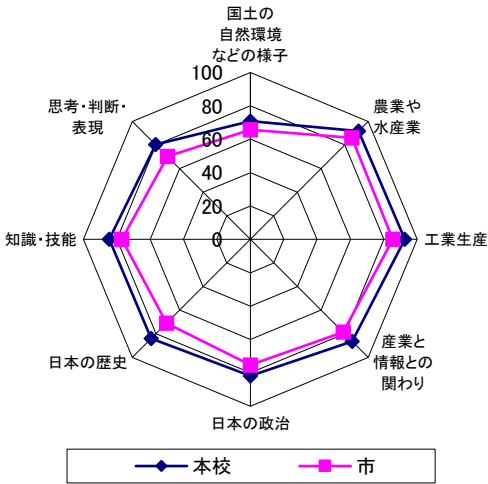


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	70.9	65.7	67.0
	農業や水産業	91.7	86.1	77.5
	工業生産	92.6	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	86.4	78.6	69.6
	日本の政治	81.8	75.2	65.8
	日本の歴史	84.1	71.1	69.1
観点別	知識・技能	84.5	77.0	72.8
	思考・判断・表現	80.2	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○校内正答率は70.9%で、市の正答率を5.2ポイント上回った。 ○雨温図から都市の位置を考える問題では、校内正答率は43.2%で、市の正答率を4.5ポイント上回った。	世界の中での日本の国土の位置や、領土の範囲、世界の大陸、海洋名については、地図帳や白地図を活用して知識の定着を図っていききたい。 他教科や普段の生活の中でもグラフなどの資料について触れる機会を設けていく。 気温や降水量について、授業を行う際に地図帳などを用いて、日本の都市ごとの気候や地理的特徴とともに理解できるようにしていきたい。
農業や水産業	○校内正答率は91.7%で、市の正答率を5.6ポイント上回った。	複数の資料を読み取り、それを関連付けて、考えられることを文章等で表現する機会を継続して設けていくようにする。 他教科や食育などを通して農業についての理解をより高めていくようにする。
工業生産	○校内正答率は92.6%で、市の正答率を7.2ポイント上回り、高い正答率を示している。	工業製品は様々な種類があるため、授業を行う際にその違いを丁寧に説明し、理解できるようにしていきたい。
産業と情報との関わり	○校内正答率は86.4%で、市の正答率を7.8ポイント上回り、高い正答率を示している。 ●施設がつくられた目的を資料から読み取り、文中に当てはまる単語を書く問題の校内正答率は90.1%で、市の正答率を0.2ポイント下回った。	情報化社会の有益性と危険性を十分理解できるようにするために、情報の伝え方と受け取り方、メディアとの関連に触れ、興味・関心をもたせた上で学習させていきたい。 資料を読み取り、文章の前後の関係から、適した文や単語が書けるよう、他教科と関連付けた指導を継続していく。
日本の政治	○校内正答率は81.8%で、市の正答率を6.6ポイント上回った。 ○日本国憲法に関する問題で、国民の権利や義務と天皇の地位についての問いに対して、校内正答率は市の正答率と比べて、5.1ポイント、10.1ポイントとそれぞれ高い正答率を示した。	自分たちの生活とかけはなれがちな政治の働きについて身近で切実なものにするために、学校や学級のルールについて考える場を設定したり、市の働きを取り上げたりするなどして政治と関連付けて考え、政治の働きに関心をもてるよう今後も指導を継続していく。
日本の歴史	○校内正答率は84.1%で、市の正答率を13ポイント上回り、高い正答率を示している。 ○どの時代、どの問題においても市の平均を上回っている。特に、資料から読み取ったことを表現する問題で12.6ポイント上回っており、歴史事項に関する関心の高さが学習の定着につながっているといえる。	さらに歴史学習への理解を深めるために、時代ごとに学習した内容を、比較したり関連付けたりしながら、歴史について多面的な見方ができるような学習を工夫していきたい。 歴史上の人物と出来事が関連付けて覚えられるよう、指導していく。